

耳鼻咽喉科

■末次 敏成 耳鼻咽喉科医長

■植松 秀雄（非常勤）

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科教授

■和田 弘太（非常勤）

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科准教授

■長船 大士（非常勤）

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科助教

■松島 康二（非常勤）

東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科助教

診療科紹介

診療は常勤医1名、非常勤3名、臨床検査技師3名で行っております。

外来

耳鼻咽喉科の疾患全般について診断・治療を行っています。

外来では主に顕微鏡による外耳、中耳の観察やファイバースコープにより鼻腔、咽喉頭の観察、フレンチェル眼鏡での眼振検査、専門検査技師による聴力検査、中内耳機能検査、電気眼振図による平衡機能検査を行っています。特に昨今はストレス社会の為か、めまいやふらつきなどで受診する患者様の数が急増しております。耳性めまいと診断された時点で患者様にはめまいのリハビリを指導しております。

鼻疾患では主に鼻閉や鼻汁などの主訴が多く、CTやMAST等で鼻内、アレルギー精査を行い、慢性副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻茸などの加療を行っています。内服で改善を認めない場合は、内視鏡を用いた鼻内副鼻腔手術や鼻中隔彎曲矯正術、鼻茸切除、下鼻甲介焼灼術などの手術加療を随時行っています。鼻出血の止血処置や頻回に繰り返している方

には鼻粘膜焼灼術での止血処置を行っています。

耳疾患では慢性中耳炎や急性感音難聴（突発性難聴）、耳管狭窄症、耳鳴症、機能性難聴、滲出性中耳炎、ベル麻痺、ラムゼイハント症候群や前庭神経炎、良性発作性頭位めまい症、メニエール病などのめまい、難聴疾患の治療を行っています。

慢性中耳炎の場合ではパッチテストを行い、聴力改善が認められれば、手術により耳漏と伴に聴力改善が期待できるため、積極的に手術を勧めています。

慢性中耳炎や真珠腫性中耳炎、外耳道病変、また頸部腫瘍疾患に対し、月1回、東邦大学枝松教授の手術日を設けており、鼓室形成術、鼓膜形成術、頸部腫瘍摘出術などの中内耳、頸部手術を行っています。

めまい、難聴は専門の臨床検査技師により電気眼振図による平衡機能検査や聴覚検査等を行い、診断、治療を行っております。加齢に伴う難聴や聴覚精査の上、補聴器が必要と判断した場合は患者様に補聴器外来への受診をお勧めしております。毎週火、木曜日午後に補聴器外来を設けており、補聴器の試聴や相談、フィッティング、補聴器作成を行っています。

まずは耳鼻咽喉科外来を受診して頂き、補聴器が必要な状態かを医師が診察させていただきます。本年度は患者様のご依頼により、当院補聴器外来で124台の補聴器を作成、提供させていただきました。補聴器購入後のアフターケアも当科補聴器外来で行っています。ご相談は無料ですが完全予約制となります。

咽喉頭疾患では主に咽喉頭異常感症や急性喉頭蓋炎、喉頭浮腫、急性扁桃炎、頸部膿瘍などの治療を行っています。症状に応じて適宜入院での加療を行っています。また食道造影や喉頭ファイバースコープや飲水テストなどによる嚥下機能評価を行っています。悪性腫瘍疾患は常勤医が1名体制の為、夜間、急変時の対応などが困難な事から精査、診断を行い、必要

に応じて大学病院施設や癌専門病院施設などへご紹介しております。

- ・他科や近隣の先生方と連携をとり、鎌倉市中核病院の耳鼻咽喉科としての役割を今まで以上に果たしていきたいと思っています。

特殊外来

月1回の特診日（第3土曜日）には枝松教授（耳疾患専門）の診察日を設けており、各専門分野の診療を行っています。

手術統計（2014年1月1日～2014年12月31日）

鼓室形成術	6件
鼓膜チューブ留置術	4件
耳瘻孔摘出術	0件
両側口蓋扁桃摘出術	16件
軟口蓋咽頭形成術	0件
アデノイド切除術	2件
鼻中隔彎曲矯正術	32件
内視鏡下鼻内副鼻腔手術	22件
鼻茸切除術	2件
鼻前庭嚢胞摘出術	0件
上顎洞根本術	0件
下鼻甲介粘膜焼灼術	0件
顎下腺腫瘍摘出術	0件
2013年度 手術件数	84件

検査統計（2014年1月1日～2014年12月31日）

聴力検査	3,554件
平衡機能検査	139件

展望

- ・急性期の疾患に対し、随時受け入れを行い、加療を行っていきます。
 - ・患者様のQOLが向上目的とした手術加療を積極的に行っていきます。
-